

令和6年度
福祉系学生向け就職状況調査
報告書

令和7年3月

新潟市福祉部高齢者支援課

目 次

1	調査の概要	1
(1)	調査対象	1
(2)	調査実施期間	1
(3)	調査方法	1
2	回答結果	2
◆	基本項目 所属している学校	2
1	在籍している学科	2
2	介護系学科に在籍している学生の就職先	2
3	介護系学科以外に在籍している学生の就職先	2
4	介護系学科に在籍している学生の就職先 (高齢者施設・介護サービス事業所)	3
5	介護系学科に在籍している学生の採用職種	4
6	介護系学科に在籍している学生が高齢者福祉・介護サービス事業所 に就職しなかった理由 (複数回答)	4
7	介護系学科以外に在籍している学生の就職先 (高齢者施設・介護サービス事業所について)	5
8	介護系学科以外に在籍している学生の採用職種	6
9	介護系学科以外に在籍している学生が高齢者福祉・介護サービス 事業所に就職しなかった理由 (複数回答)	6
10	学生の出身地	7
11	就職先事業所の所在地	7
12	介護業界を目指そうと思った時期	7
13	介護業界を目指したきっかけ (複数回答)	8
14	就職先の勤務地を選んだ理由 (複数回答)	8
15	就職先の事業所を選んだきっかけ (複数回答)	9
16	就職活動の際に利用した支援・サービス (複数回答)	10
17	就職活動の際に役に立った支援・サービス (複数回答)	11

1 調査の概要

(1) 調査対象

新潟市内に所在する介護福祉士養成校に在籍しており、令和7年3月に卒業する学生332名を対象にアンケート調査を行った。

【養成校】全4校

新潟青陵大学（短期大学部含む）

新潟医療福祉大学

国際こども・福祉カレッジ

新潟医療福祉カレッジ

【配布数】332 票

【回答数】89 票（回収率 26.8%）

(2) 調査実施期間

令和6年12月6日～令和7年2月17日

(4) 調査方法

各養成校への周知依頼を通じた配布

新潟市オンライン申請システムによる回収

令和6年度福祉系学生向け就職状況調査 結果集計

対象期間：令和6年12月6日～令和7年2月17日

◆基本項目 所属している学校はどこですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	新潟青陵大学（短期大学部を含む）	20	22.5%	32.9%
2	新潟医療福祉大学	3	3.4%	14.5%
3	国際こども・福祉カレッジ	34	38.2%	26.3%
4	新潟医療福祉カレッジ	32	36.0%	26.3%
	全回答者（n=89）	89	100.0%	100.0%

Q1 在籍している学科はどこですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	介護系学科	64	71.9%	92.1%
2	看護系学科	0	0.0%	0.0%
3	相談・援助系学科（社会福祉・障がい福祉系学科）	25	28.1%	7.9%
4	子ども・保育系学科	0	0.0%	0.0%
5	その他	0	0.0%	0.0%
	全回答者（n=89）	89	100.0%	100.0%

今回調査では、相談・援助系学科（社会福祉・障がい福祉系学科）の割合が伸びている結果となった。

Q2 介護系学科の方にお聞きします。就職先は高齢者福祉・介護サービス事業所ですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	はい	55	85.9%	88.6%
2	いいえ	9	14.1%	11.4%
	介護系学科の学生（n=64）	64	100.0%	100.0%

今回調査では、高齢者福祉・介護サービス事業所以外の選択が若干増加した結果となった。

Q3 介護系学科以外の方にお聞きします。就職先は高齢者福祉・介護サービス事業所ですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	はい	12	48.0%	83.3%
2	いいえ	13	52.0%	16.7%
	介護系学科以外の学生（n=25）	25	100.0%	100.0%

今回調査では、高齢者福祉・介護サービス事業所以外の選択が大幅に増加した結果となった。

Q 4 設問2で「はい」を選択した介護系学科の方にお聞きします。どの高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しますか。（あてはまるもの1つを選択してください。）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	介護老人福祉施設	27	49.1%	58.1%
2	介護老人保健施設	10	18.2%	6.5%
3	介護医療院	0	0.0%	6.5%
4	小規模多機能型居宅介護	0	0.0%	0.0%
5	看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%	0.0%
6	夜間対応型訪問介護	0	0.0%	0.0%
7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0%	0.0%
8	訪問介護	0	0.0%	3.2%
9	訪問入浴介護	0	0.0%	0.0%
10	訪問リハビリテーション	0	0.0%	0.0%
11	通所介護	1	1.8%	0.0%
12	通所リハビリテーション	0	0.0%	0.0%
13	短期入所生活介護	0	0.0%	0.0%
14	特定施設入居者生活介護	1	1.8%	0.0%
15	住宅型有料老人ホーム	2	3.6%	1.6%
16	地域包括支援センター	0	0.0%	1.6%
17	居宅介護支援事業所	0	0.0%	0.0%
18	不明	10	18.2%	12.9%
19	その他	4	7.3%	9.6%
	介護系学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=55）	55	100.0%	100.0%

前回調査同様に、介護保険施設への就職が7割近くを占める結果となった。

Q 5 設問2で「はい」を選択した介護系学科の方にお聞きします。採用された職種はどれですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	介護職	53	96.4%	95.2%
2	介護職・生活相談員	1	1.8%	0.0%
3	生活相談員	0	0.0%	0.0%
4	看護職	0	0.0%	0.0%
5	その他	1	1.8%	4.8%
	介護系学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=55）	55	100.0%	100.0%

前回調査同様に、介護職としての採用が大半を占める結果となった。

Q 6 設問2で「いいえ」を選択した介護系学科の方にお聞きします。高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	仕事のわりに賃金が安い	0	0.0%	0.0%
2	身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）	3	33.3%	11.1%
3	精神的負担が大きい	1	11.1%	0.0%
4	労働時間や休日が不規則である	0	0.0%	0.0%
5	夜勤がある	0	0.0%	0.0%
6	雇用が不安定である	0	0.0%	0.0%
7	コミュニケーション能力に不安がある	0	0.0%	11.1%
8	家族や知人等に反対された	0	0.0%	0.0%
9	就職を希望したが不採用となった	0	0.0%	0.0%
10	その他	5	55.6%	77.8%
	介護系学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しなかった学生（n=9）	9	100.0%	100.0%

今回調査では、「身体的・精神的な負担が大きい」ことを理由とする割合が増加した結果となった。

Q7 設問3で「はい」を選択した介護系学科以外の方にお聞きします。どの高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しますか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	介護老人福祉施設	5	41.7%	0.0%
2	介護老人保健施設	0	0.0%	60.0%
3	介護医療院	0	0.0%	0.0%
4	小規模多機能型居宅介護	0	0.0%	0.0%
5	看護小規模多機能型居宅介護	0	0.0%	0.0%
6	夜間対応型訪問介護	0	0.0%	0.0%
7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	8.3%	0.0%
8	訪問介護	1	8.3%	0.0%
9	訪問入浴介護	0	0.0%	0.0%
10	訪問リハビリテーション	0	0.0%	0.0%
11	通所介護	1	8.3%	0.0%
12	通所リハビリテーション	0	0.0%	0.0%
13	短期入所生活介護	0	0.0%	0.0%
14	特定施設入居者生活介護	0	0.0%	0.0%
15	住宅型有料老人ホーム	0	0.0%	0.0%
16	地域包括支援センター	1	8.3%	0.0%
17	居宅介護支援事業所	0	0.0%	0.0%
18	不明	2	16.7%	40.0%
19	その他	1	8.3%	0.0%
	介護系学科以外で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生 (n=12)	12	100.0%	100.0%

今回調査では、施設系以外に居宅系サービスへの就職が一定数ある結果となった。

Q 8 設問3で「はい」を選択した介護系学科以外の方にお聞きします。採用された職種はどれですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	介護職	4	33.3%	80.0%
2	介護職・生活相談員	2	16.7%	0.0%
3	生活相談員	4	33.3%	20.0%
4	看護職	0	0.0%	0.0%
5	その他	2	16.7%	0.0%
	介護系学科以外で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生 (n=12)	12	100.0%	100.0%

今回調査では、多様な職種が選択されている結果となった。

Q 9 設問3で「いいえ」を選択した介護系学科以外の方にお聞きします。高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	仕事のわりに賃金が安い	1	7.7%	0.0%
2	身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)	3	23.1%	11.1%
3	精神的負担が大きい	0	0.0%	0.0%
4	労働時間や休日が不規則である	0	0.0%	0.0%
5	夜勤がある	1	7.7%	0.0%
6	雇用が不安定である	0	0.0%	0.0%
7	コミュニケーション能力に不安がある	0	0.0%	11.1%
8	家族や知人等に反対された	0	0.0%	0.0%
9	就職を希望したが不採用となった	0	0.0%	0.0%
10	その他	8	61.5%	77.8%
	介護系学科以外で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職しなかった学生 (n=13)	13	100.0%	100.0%

今回調査では、身体的負担感のほか、処遇面を理由とする割合が増加した結果となった。

Q10 出身地はどこですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	新潟市内	32	47.8%	50.7%
2	新潟県内（新潟市を除く）	27	40.3%	25.4%
3	新潟県の隣県（山形県、福島県、群馬県、長野県、富山県）	6	9.0%	1.5%
4	関東地方の都市部（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）	0	0.0%	1.5%
5	その他	2	3.0%	20.9%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	67	100.0%	100.0%

今回調査では、県内出身者の割合が増加した結果となった。

Q11 就職先の事業所の所在地はどこですか。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	新潟市内	37	55.2%	61.2%
2	新潟県内（新潟市を除く）	26	38.8%	28.4%
3	新潟県の隣県（山形県、福島県、群馬県、長野県、富山県）	1	1.5%	0.0%
4	関東地方の都市部（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）	2	3.0%	3.0%
5	その他	1	1.5%	7.5%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	67	100.0%	100.0%

今回調査では、県内での就職の割合が若干増加した結果となった。

Q12 介護業界を目指そうと思った時期がいつか教えてください。

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	小学校	5	7.5%	7.5%
2	中学校	15	22.4%	16.4%
3	高等学校	37	55.2%	41.8%
4	現在の学校に入ってから	8	11.9%	16.4%
5	その他	2	3.0%	17.9%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	67	100.0%	100.0%

今回調査では、高等学校までの時期で介護業界を目指そうと思った割合が大きく増加した結果となった。

Q13 介護業界を目指したきっかけは何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	家族や知人が介護業界で働いていて興味を持った、または、勧められた	18	26.9%	28.4%
2	家族等の介護をした、している経験があり、介護士と関わるうちに興味を持った	11	16.4%	16.4%
3	祖父母等と同居している、または仲が良く、お年寄りに関わる仕事をしたかった	18	26.9%	32.8%
4	小・中学校の総合学習で介護について学んだり、介護施設を訪問したりして興味を持った	11	16.4%	19.4%
5	福祉施設等でのボランティア経験があった	12	17.9%	10.4%
6	学校の先生に勧められた	3	4.5%	3.0%
7	特別な資格や技術がなくても、簡単に就職できそうだった	2	3.0%	0.0%
8	介護業界について漠然と興味があった	13	19.4%	10.4%
9	その他	11	16.4%	23.9%
10	わからない	3	4.5%	7.5%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	102		

前回調査同様に、介護やお年寄りに関わる機会が多いことが介護業界を目指すきっかけになっている結果となった。

Q14 就職先の勤務地を選んだ理由は何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	出身地で就職したかった	37	55.2%	40.3%
2	志望する事業所が当該地域にしかなかった	3	4.5%	6.0%
3	親、保護者等と同居したかった、または近くに住みたかった	14	20.9%	11.9%
4	家族等の介護が必要であり、近くで住む必要があった	1	1.5%	7.5%
5	彼氏、彼女等パートナーと同じ地域で働きたかった	2	3.0%	7.5%
6	なんとなく	8	11.9%	10.4%
7	その他	12	17.9%	32.8%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	77		

前回調査同様に、地元や家族の近くでの就職を望む傾向が高い結果となった。

Q15 就職先の事業所を選んだきっかけは何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	賃金がよい	13	19.4%	22.4%
2	福利厚生が充実している	18	26.9%	37.3%
3	休みを取りやすい、勤務時間の希望が通りやすい	1	1.5%	11.9%
4	研修制度や資格取得に対する支援体制が充実している	12	17.9%	22.4%
5	職場内でキャリアアップができる	11	16.4%	11.9%
6	無資格者も募集していた	0	0.0%	1.5%
7	募集人数が多かった	0	0.0%	3.0%
8	説明会や事業所見学、実際の職場・職員の雰囲気がよかった	22	32.8%	35.8%
9	大学・専門学校の指導教員から勧められた	7	10.4%	13.4%
10	法人の理念に共感した	8	11.9%	20.9%
11	大企業でイメージが良かった（ネームバリューなど）	2	3.0%	3.0%
12	新しい事業所である	1	1.5%	1.5%
13	職場の規模が大きい	5	7.5%	9.0%
14	職場の規模が小さい	1	1.5%	1.5%
15	評判がよい事業所だった	1	1.5%	10.4%
16	知人、友人、先輩等が働いている	4	6.0%	6.0%
17	他の事業所を志望していたが、就職先の事業所にしか採用されなかった	2	3.0%	0.0%
18	なんとなく	5	7.5%	7.5%
19	その他	8	11.9%	22.4%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	121		

前回調査同様に、処遇面やキャリアアップ等の制度のほか、説明会や事業所見学での雰囲気を重視している傾向が大きい結果となった。

Q16 就職活動の際に利用した支援・サービスは何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	インターネット（法人HP、掲示板、口コミサイト）	38	56.7%	58.2%
2	SNS（Instagram、X（旧Twitter）、TikTok）	11	16.4%	1.5%
3	学校の就職支援部門	22	32.8%	43.3%
4	福祉人材センター	7	10.4%	11.9%
5	実習・ボランティア活動	21	31.3%	26.9%
6	友人との情報交換	8	11.9%	13.4%
7	就職した先輩からの情報	3	4.5%	4.5%
8	学校が開催する就職ガイダンス	4	6.0%	13.4%
9	就職情報誌	1	1.5%	3.0%
10	合同就職説明会	12	17.9%	23.9%
11	事業所見学会	7	10.4%	20.9%
12	資格取得のための補助金	0	0.0%	1.5%
13	介護福祉士等養成施設修学資金貸付事業（新潟県事業）	4	6.0%	4.5%
14	ポータルサイト「にいがた かいごのお仕事」（新潟県事業）	1	1.5%	—
15	その他	2	3.0%	14.9%
16	特になし	1	1.5%	4.5%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	142		

前回調査同様に、インターネットやSNSからの情報のほか、学校の就職支援部門や実習・ボランティア活動などを多く利用している結果となった。

Q17 就職活動の際に役に立った支援・サービスは何ですか。（複数回答可）

No.	選択肢	R6人数	R6割合	R5割合
1	インターネット（法人HP、掲示板、口コミサイト）	36	53.7%	82.1%
2	SNS（Instagram、X（旧Twitter）、TikTok）	5	7.5%	0.0%
3	学校の就職支援部門	19	28.4%	79.3%
4	福祉人材センター	7	10.4%	50.0%
5	実習・ボランティア活動	19	28.4%	66.7%
6	友人との情報交換	7	10.4%	55.6%
7	就職した先輩からの情報	2	3.0%	66.7%
8	学校が開催する就職ガイダンス	5	7.5%	66.7%
9	就職情報誌	1	1.5%	50.0%
10	合同就職説明会	10	14.9%	81.3%
11	事業所見学会	5	7.5%	64.3%
12	資格取得のための補助金	0	0.0%	100.0%
13	介護福祉士等養成施設修学資金貸付事業（新潟県事業）	3	4.5%	66.7%
14	ポータルサイト「にいがた かいごのお仕事」（新潟県事業）	0	0.0%	—
15	その他	1	1.5%	70.0%
16	特にない	4	6.0%	100.0%
	全学科で高齢者福祉・介護サービス事業所に就職した学生（n=67）	124		

Q16と同様の傾向が見られる。